

大阪市立大学 工学部 建築学科
大学院 工学研究科 建築デザイン専攻 計画領域

准教授 倉方俊輔 博士（工学） Prof. Dr. Shunsuke Kurakata
kurakata@arch.eng.osaka-cu.(ac.jp)



研究テーマ名：近現代の日本の建築の歴史的研究

キーワード：建築史、伊東忠太、吉阪隆正、建築公開イベント

高校生への一言：建築は、人間に興味があったり、かたちを考えるのが好きだったり、ものの仕組みを明らかにするのが得意な人に向いているでしょう。その範囲は広く、まだまだやるべきことが皆さんを待っています。

大学での担当科目：建築史Ⅰ・Ⅱ、建築設計演習Ⅰ・Ⅱ、卒業論文、卒業設計

大学院での担当科目：都市・建築史、建築史特別演習、修士論文

所属学会：日本建築学会、建築史学会、日本建築家協会

1. 研究概要

(1) 建築史家/建築家・伊東忠太の研究

日本で最初の建築史研究者であり、個性的な建築設計者でもあった伊東忠太（1867～1954）の活動の詳細を調べながら、彼の建築理念と設計活動に共通した特質を明らかにしています。

(2) 建築家・吉阪隆正の研究

20世紀を代表する建築家ル・コルビュジエに学んだ吉阪隆正（1917～80）の幅広い活動と思想を掘り起こし、建築とまちに対する考え方を深めています。

(3) 近現代の日本の建築史の総合的研究

研究を通じて、建築が持つ幅広い文化的価値を見出し、多くの著書を出版して、それを一般の方々と共有することに努めています（以下は著書の一部）。

(4) 建築公開イベントの実施

2018年はのべ43,000人が参加した「生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪」（略称：イケフェス大阪）に立ち上げから関わり、建築公開イベントの毎年の実施と効果検証を行なっています。



2. 高校生向けに提供可能な講演テーマの例（実績も含む）

- ・ 建築の見方、調べ方
- ・ もっと大阪を知る建築公開イベント「イケフェス大阪」とは？